2025（令和7）年度
税務会計学科
シラバス
2年生

札幌商工会議所附属専門学校

1 年次

経済学	15		木村成一	
会社会計	225		今野誠 小笠原誠	
工業簿記	150		小笠原誠	
簿記論 I	225	○	寺田昌人	税理士
		○	本元秀幸	税理士
		○	中谷侑稔	税理士
		○	石原雄造	税理士
財務諸表論 I	225	○	小平康夫	税理士
		○	加藤駿	大学院生
所得税	45		今野誠	
法人税 I	30	○	戸田和良	元会社員
コンピューター会計基礎	45	○	坂元夕季	元企業事務職員
ビジネスマナー基礎	15	○	江口ちひろ	ビジネスマナー社員教育担当
インターンシップ	60	○	徳田智恵子	元小売業・飲食業従業員
就職指導	15		小笠原誠	
		○	坂元夕季	元企業事務職員
企業探究	30		今野誠	

2 年次

簿記論 II	195	○	寺田昌人	税理士
		○	本元秀幸	税理士
		○	中谷侑稔	税理士
財務諸表論 II	135	○	小平康夫	税理士
		○	加藤駿	大学院生
消費税	210		今野誠	
法人税 II	90		今野誠	
所得税	90	○	戸田和良	元会社員
社会保険	60	○	西城憲一	
ビジネスマナー応用演習	30	○	江口ちひろ	ビジネスマナー社員教育担当
企業講話 II	15	○	戸田和良	元会社員
コミュニケーションアワー II	30	○	戸田和良	元会社員

○・・・実務家教員

税務会計学科 目標資格一覧

資 格 名	受験月	備 考
税理士（簿記論・財務諸表論・法人税法 他）	8月	
全国経理教育協会 法人税法能力検定2級	10月	
全国経理教育協会 消費税法能力検定4級	2月	

※検定名・受験する検定は変更になる場合があります。

※全員受験の時期は変更になる場合があります。

※取得できなかった場合は在学中に再受験することが原則です。

科目名	簿記論Ⅱ		総授業時間	195	時間
			単位数	13	単位
			開講期間	後期	
科目の概要	企業の日々の活動を帳簿に数字で記録誌集計するためのルールを学ぶ				
学習到達目標	税理士試験科目 「簿記論」の科目合格				
成績評価方法	(前)・	%	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・	%		A	100 ~ 80
・	%	B		79 ~ 60	
・	%	C		59 ~ 50	
成績評価方法	(後)・授業態度	%	目標検定	D 不可 49 ~	
	・模擬試験	%		税理士試験科目 簿記論	
	・その他	%			
	・	%			
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす					
授業計画	月	教科書1 損益会計			
		教科書2 資産会計			
		教科書3 資産・負債・純資産会計			
		教科書4 構造論点・その他			
		上記教科書4冊を4人の税理士が分担し、授業を進める。			
使用テキスト 教材等	TAC出版 「税理士」簿記論の教科書&問題集 1~4 個別計算用問題集 総合問題集 基礎編 応用編 他				

科目名	財務諸表論Ⅱ		総授業時間	135	時間	
			単位数	9	単位	
			開講期間	前期		
科目の概要	企業の経営状況や財政状況を株主などに報告するための「財務諸表」の作成や理論について学ぶ					
学習到達目標	税理士試験科目 「財務諸表」の科目合格					
成績評価方法	(前) ・ 授業態度	%	評価 基準	S 受講・実習による履修認定		
	・ 模擬試験	%		A	100	～ 80
・ その他	%	B		79	～ 60	
・	%	C		59	～ 50	
(後) ・	%	D		不可	49	～
成績評価方法	・	%	目標 検定	税理士試験科目		
	・	%		財務諸表論		
・	%					
・	%					
・	%					
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす						
授業計画	4月	教科書1	損益会計			
	5月					
	7月	教科書2	資産会計			
		教科書3	資産・負債・純資産会計			
		教科書4	構造論点・その他			
		教科書5	理論			
		上記教科書5冊を2人の税理士が分担し、授業を進める。				
使用テキスト 教材等	TAC出版 「税理士」財務諸表論の教科書&問題集 1～5 個別計算用問題集 総合問題集 基礎編 応用編 他					

科目名	消費税		総授業時間	285	時間
			単位数	19	単位
			開講期間	後期	
科目の概要	税理士試験の科目である消費税法について学ぶ。高いレベルの内容を少しでも多く学び、卒業後の受験に備える。				
学習到達目標	全国経理教育協会主催 消費税法 1級				
成績評価方法	(前)・課題などの提出	80 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・出席率	20 %		A	100 ~ 80
・	%	B		79 ~ 60	
・	%	C		59 ~ 50	
成績評価方法	(後)・	%	目標検定	D 不可 49 ~	
	・	%			
・	%				
・	%				
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす					
授業計画	9月	1	取引分類・課税標準		
		2	取引分類・課税標準		
		3	取引分類・課税標準		
		4	取引分類・課税標準/仕入税額控除		
	10月	1	仕入税額控除		
		2	仕入税額控除		
		3	仕入税額控除		
		4	仕入税額控除		
	11月	1	納税義務		
		2	納税義務		
		3	納税義務		
		4	納税義務/申告制度・新論点その他		
	12月	1	申告制度・新論点その他		
	2	申告制度・新論点その他			
	3	申告制度・新論点その他			
使用テキスト等	TAC みんなが欲しかった！ 税理士消費税法の教科書&問題集 1~4				

科目名	法人税Ⅱ		総授業時間	60	時間
			単位数	4	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	昨年の法人税Ⅰに引き続き、全国経理教育協会主催の法人税法能力検定2級取得を目指す。				
学習到達目標	全国経理教育協会主催 法人税法能力検定 2級取得				
成績評価方法	(前)・検定試験	80 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・出席率	20 %		A	100 ~ 80
・	%	B		79 ~ 60	
・	%	C		59 ~ 50	
成績評価方法	(後)・	%	目標検定	D 不可 49 ~	
	・	%			
・	%				
・	%				
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす					
授業計画	4月	1	減価償却		
		2	減価償却		
		3	減価償却		
	5月	1	繰延資産の償却		
		2	役員の給与等		
		3	役員の給与等		
		4	租税公課		
	6月	1	寄付金		
		2	交際費		
		3	貸倒損失と貸倒引当金		
		4	貸倒損失と貸倒引当金		
	7月	1	圧縮記帳		
		2	受取配当金の益金不算入		
		3	有価証券の譲渡損益・時価評価損益・外貨建取引の換算		
		4	その他の損益		
	9月	1	別表四と五(一)の作成方法		
		2	税率・同族会社と留保金課税		
		3	所得税額の控除		
		4	申告と納税		
	10月	1	グループ法人税制		
	2	問題演習			
	3	問題演習			
	4	問題演習			
使用テキスト等	清文社 演習法人税法				

科目名	所得税		総授業時間	90	時間
			単位数	6	単位
			開講期間	後期	
科目の概要	所得税法に基づき、各種所得の金額の計算、各種所得控除の計算、申告納税額の計算について学びます。				
学習到達目標	所得税法に基づいた各種所得・所得控除・税額の計算の基礎を習得し、検定試験合格を旨とします。				
成績評価方法	(前)・	%	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・	%		A	100
・	%	B		79	～ 60
・	%	C		59	～ 50
	(後)・ 授業内試験	70 %	目標検定	D 不可 49 ～	
	・ 出席状況、平常点	30 %		所得税法能力検定 2 級	
	・	%			
	・	%			
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	9 月	1	税金の基礎知識、所得税の概要		
		2	利子所得、不動産所得		
		3	事業所得		
		4	事業所得		
	10 月	1	事業所得		
		2	事業所得		
		3	給与所得、退職所得、山林所得		
		4	譲渡所得		
	11 月	1	一時所得、雑所得		
		2	課税標準		
		3	課税所得金額 (所得控除)		
		4	納付税額の計算		
	12 月	1	確定申告等		
	2	問題演習			
	3	問題演習			
使用テキスト等	TAC出版 所得税法入門				

科目名	社会保険		総授業時間	60	時間
			単位数	4	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	企業の総務、人事、労務部門や会計事務所、税理士事務所、社会保険労務士事務所に就職した際に、社会保険や労働法に関する基礎知識を理解し、実務に活かせるスキルを習得する。				
学習到達目標	社会保険の制度や手続きを体系的に理解し、就職後に即戦力として実務を遂行できる能力を身につける。				
成績評価方法	(前)・定期試験	70 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・平常点その他	30 %		A	100 ~ 80
・	%	B		79 ~ 60	
・	%	C		59 ~ 50	
	(後)・定期試験	70 %		D 不可	49 ~
	・平常点その他	30 %	目標検定	特になし	
	・	%			
	・	%			
※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす					
授業計画	4月	1.2	働くため・求人票を見るための知識		
		3.4	マイナンバー制度		
	5月	1.2	社会保険の基礎		
		3.4	健康保険について		
		5.6	年金制度（国民年金・厚生年金）		
		7.8	社会保険料と手続き		
	6月	1.2	試験・解答（予定）		
		3.4	労災保険		
		5.6	雇用保険		
		7.8	労働保険料の計算と手続き		
	7月	1.2	給与明細・賞与明細の確認		
		3.4	所得税・住民税		
		5.6	年末調整		
	7.8	試験・解答（予定）			
9月		労働法の基本と労働契約について			
10月		働き方改革と労務管理の実務			
	5.6	試験・解答（予定）			
11月		社会保険制度の理解と実務			
12月		労働災害と企業の責任			
	5.6	試験・解答（予定）			
使用テキスト等	適宜、プリント配布。				

科目名	ビジネスマナー応用		総授業時間	30	時間
			単位数	2	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	社会人として自信をもって取り組めるように、事例を入れながらビジネスマナーや円滑なコミュニケーションの取り方を学ぶ。				
学習到達目標	社会人に必要なビジネスマナーの基本を身につけ、相手のために何ができるかを考え行動できる社会人になることを目指す。				
成績評価方法	(前)・定期試験	60 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・課題・レポート	20 %		A	100 ~ 80
・平常点・授業態度	20 %	B		79 ~ 60	
・	%	C		59 ~ 50	
	(後)・定期試験	60 %	D	不可 49 ~	
	・課題・レポート	20 %	目標検定	特になし	
	・平常点・授業態度	20 %			
	・	%			
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	オリエンテーション/ビジネスマナーの必要性				
	好印象の挨拶、立ち居振る舞いの振り返り				
	ビジネスの言葉遣い（敬語/慣用表現）				
	好印象の言葉遣い				
	訪問のマナー（就職活動）				
	来客対応のマナー				
	社会人の訪問マナー				
	電話対応のマナー				
	・名乗り方/基本の受け方				
	・基本の取り次ぎ/担当者不在の対応				
	・基本のかけ方（アポイントメント）				
	・ケーススタディ				
	報連相のマナー				
	・分かりやすい伝え方				
	・意図を掴む指示の受け方				
	個人宅の訪問マナー				
	会議のマナー（コンセンサスを考える）				
顧客満足を考える					
新社会人に必要なコミュニケーション					
・アサーションワーク					
冠婚葬祭のマナー					
食事のマナー					
新社会人の心構えまとめ					
使用テキスト 教材等	オリジナルプリント資料（授業毎に配布）				

科目名	コミュニケーション・アワーⅡ		総授業時間	30	時間
			単位数	2	単位
			開講期間	通年	
科目の概要	本校の校訓である「自主共生」を体現し、学校生活を楽しく過ごす活動をする。また、就職活動に関する指導を実施し、卒業までに就職内定をできるようにする。				
学習到達目標	校訓の「自主共生」について理解し、自ら正しく判断できるようになり、クラス全員で協働することができるようになるようにします。また、札幌商工会議所と連携をはかり、各種事業への参画・セミナー受講を通して社会性を培う。				
成績評価方法	(前)・S 評定 (受講・実習による履修認定)	100 %	評価基準	S 受講・実習による履修認定	
	・	%		A	100 ~ 80
	・	%	B	79 ~ 60	
	・	%	C	59 ~ 50	
	(後)・S 評定 (受講・実習による履修認定)	100 %	D	不可 49 ~	
	・	%	目標検定	なし	
	・	%			
	・	%			
	※ 出席していても寝ていたり、授業態度が悪かった場合は欠席とみなす				
授業計画	4月	オリエンテーション			
	5・9月	バスレクリエーションの実施			
	6月	町内会との合同清掃活動			
	7・12月	校内清掃活動			
	通年	就職に関する指導 (求人票の紹介・就職状況の説明・就職面談)			
	〃	札幌商工会議所との連携 (YEG事業参画・会議所セミナー受講等)			
	〃	フィールドワークの企画・実施			
	〃	クラスレクリエーションの企画・実施			
	〃	学年集会・全校集会			
使用テキスト教材等	なし				